

第5回大阪市教育フォーラム

集い語ろう!

自分らしく自ら学ぶ子どもを育てる大阪市の教育

～ 協働しながら社会を創造するために ～

<主催> 大阪市教育委員会事務局

<共催> 大阪教育大学



対面
+
オンライン

【開催日】 令和6年12月24日(火)

受付	全体会【西館ホール】 (詳細は2ページを参照ください)	移動・休憩	分科会 【みらい教育共創館(総合教育センター)各分科会会場】 (詳細は3, 6～10ページを参照ください)
13:45	14:00	15:15	15:45
			17:00

【全体会】

よりよい社会を創るために必要な力とは

講師 中島 さち子 氏(株式会社 steAm 代表取締役)

※全体会、分科会の参加を希望される方は、My・reco(マイ・レコ)にて「第5回大阪市教育フォーラム」参加申込みより、下記の期間内に事前申込みをしてください。(詳細は4・5ページ)

申込期間 11月25日(月)～12月16日(月)

【全体会・分科会記録動画 配信期間】

令和7年1月23日(木)～令和7年2月28日(金)

※動画の視聴申込みはありません。

1月中旬に、各所属先へ動画視聴の資料を送付いたします。

【大阪教育大学 みらい教育共創パートナー展示】

時刻: 11:00～15:45

会場: みらい教育共創館5階

産官学連携拠点フロア



※詳細については、二次元コードよりアクセスしてご確認ください。

○講演テーマ

『よりよい社会を創るために必要な力とは』

講師 中島 さち子 氏(株式会社 steAm 代表取締役)

《講師プロフィール》

音楽家・数学研究者・STEAM教育者。
(株)steAm 代表取締役、(一社)steAm BAND代表理事、大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー、内閣府STEM Girls Ambassador、東京大学大学院数理科学研究科特任研究員。国際数学オリンピック金メダリスト。音楽数学教育と共にアート&テクノロジーの研究も進める。



《講話概要》

経済産業省「未来の教室」では、「学びのSTEAM化」とは、子どものワクワクを中心に、「知る」と「創る」とが循環する学びを生み出すこととしています。サイエンスやテクノロジーといったSTEAMの頭文字が意味するとおり、教科や専門性は、今でも大事なベースです。そうした「知」が「創る」という観点で捉え直されたらもっと学びは躍動的で面白くなります。STEAM教育では、子どもが自分の興味・関心に基づいて新たな知に出会い、それを活かして自ら何かを創り出していきます。しかし、学びが自由になればなるほど、どうすればいいのかと悩んでしまう先生も少なくありません。よりよい社会を創るために、子ども達に身に付けて欲しい力、先生方に知って欲しいことについてお伝えします。

【分科会について】 12月24日(火)開催

分科会

【12月24日(火)開催】

対面型・オンライン型

参加申込みが必要
(詳細は4・5ページ)

- ・1つの分科会につき定員は原則 対面30名、オンライン40名です。
- ・対面型分科会は、みらい教育共創館(総合教育センター)を会場として、オンライン型分科会はMicrosoft Teamsを通じて開催します。
- ・対面型分科会、オンライン型分科会ともにグループ協議の時間を設けます。

【配信期間 令和7年1月23日(木)~令和7年2月28日(金)】

分科会記録動画 配信

申込みは不要

- ・waku^{x2}.com-beeにて、オンデマンド動画を配信します。
- ・1月中旬に各所属先へ動画視聴の資料を送付します。
- ・1人あたりの視聴制限等はありません。

※全体会・分科会に対面参加される場合は、職員証を必ず携行してください。

【分科会 一覧】

記号	分科会名	基本的な方向
A	不登校にある生徒への包括的な支援をめざして ～不登校支援モデル校2校の実践を通して～	①
B	道徳教育の推進・充実に向けて ～「よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進事業」道徳教育研究校の実践より～	
C	帰国・来日等の子どもの教育を進めるために ～2023年度 大阪市「外国にルーツのある子ども」学習・生活調査報告書から～	②
D	「通級による指導」全校開設の歩み ～学校全体で取り組み、通常学級の指導に生かす～	
E	つながろう、つなげよう、学びの架け橋  ～もし小学校の先生が幼児期の教育に出会ったら…～	③
F	教育は数値で語れない!? 教育データからみえる学力のつまずきと不登校の分析	
G	大阪市総合教育センター研究校の実践について ～教育課題の解決をめざして～	④
H	理科好きの子どもを育てる ～理科教育推進校の取組～	
I	How to Teach English ～授業カブラッシュアップ!～	
J	【教育DX】学びが変わる、学校が変わる  ～リーディングDXスクール事業指定校からの報告～	⑥
K	カリキュラム・マネジメントの充実に向けたモデル開発 ～教育活動の質の向上をめざして～	
L	信頼関係を築く保護者対応 ～関係づくりのポイントとは～	⑦
M	大学院での学び ～大学院で学ぶことのよさ～	
N	学校と地域が協働した子どもたちの豊かな学びのために ～「社会に開かれた教育課程」と地域学校協働活動～	⑨

※大阪市教育振興基本計画より（詳細については、下記ホームページをご覧ください。）

<https://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/page/0000553208.html>

- 基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現
- 基本的な方向2 豊かな心の育成
- 基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上
- 基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上
- 基本的な方向5 健やかな体の育成
- 基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- 基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり
- 基本的な方向8 生涯学習の支援
- 基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進



「第5回大阪市教育フォーラム参加申込書」
【申込期間】12月16日(月)17時まで

下記の二次元コードよりお申込みください。
(全体会・分科会用)



- ※申込は先着順です。
- ※全体会への申込可能人数は
【対面参加】30名、【オンライン参加】40名です。
- ※分科会への申込可能人数は
【対面参加】4名、【オンライン参加】4名です。
- ※申込人数が上限を超えた場合、メールにてお断りさせていただきます。
- ※申込期間終了後、対面参加の方には研修室を、オンライン参加の方にはTeamsの会議URLをメールにてご案内させていただきます。

全体会・分科会とも、
p. 4のフォームよりお申込みください。

A

不登校にある生徒への包括的な支援をめざして ～不登校支援モデル校2校の実践を通して～

令和5年3月に公表された調査報告により、不登校の要因が多様であることが確かめられ、児童・生徒それぞれのニーズに寄り添った支援が求められるようになってきております。各校におかれましても、不登校の未然防止や学習保障について、さまざまに工夫をしながら取組を進めておられるのではないのでしょうか。

本分科会では、不登校支援モデル校である瑞光中学校と矢田中学校の実践を報告します。各校がそれぞれの課題に応じて、チーム学校として不登校に向き合い、継続的な支援を行っていかうとする取組を、今後の不登校支援のあり方としてぜひご参考にしてください。

< 発表 >

大阪市立瑞光中学校 生徒指導主事 田口 博之

大阪市立矢田中学校 生徒指導主事 坂本 文子

< 担当 >

指導部 教育活動支援担当 生活指導グループ 総括指導主事 山中 建
首席 廣町 智栄

B

道徳教育の推進・充実に向けて

～「よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進事業」道徳教育研究校の実践より～

道徳科が教科化されて小学校が7年目、中学校が6年目になります。新型コロナウイルス感染症の影響を経て世の中は大きく変化しました。しかしながら、子どもたちが身につけるべき道徳性は普遍的なものです。その道徳性を養うため、学校教育全体で道徳教育を行い、その深化・補充・統合の役割を担う道徳科のさらなる充実・発展に向けて、研究を進めてこられた3校の発表です。指導方法の工夫、小中連携の研修など道徳科の取組について、皆さんと一緒に考えていけたらと思います。

< 発表 >

大阪市立新東三国小学校

大阪市立十三小学校

大阪市立港中学校

< 担当 >

大阪市総合教育センター 教育振興担当 総括指導主事 浦 源之郎

C

帰国・来日等の子どもの教育を進めるために

～2023年度 大阪市「外国にルーツのある子ども」学習・生活調査報告書から～

令和6年度、大阪市内の約8割の学校に日本語指導が必要な子どもが在籍しています。学級担任や教科担任をはじめ、学校全体で子どもたちの支援を行うことが求められており、試行錯誤が続いています。

本分科会では、2023年度に実施した、大阪市「外国にルーツのある子ども」学習・生活調査の結果を共有し、各学校でできる支援の工夫を紹介します。日本語指導が必要な子どもたちの学力を保障する方法を一緒に考えましょう。

< 講師 >

大阪教育大学 教授 高橋 登

< 担当 >

指導部 教育活動支援担当 人権・国際理解教育グループ 総括指導主事 馬場 朋枝

D

「通級による指導」全校開設の歩み ～学校全体で取り組み、通常学級の指導に生かす～

本市では、障がいのある子どもたちの学びの場の充実に向けて、令和8年度をめどに、「通級による指導」の学びの場を全校に開設し、子どもたちが自分の通っている学校でも通級を利用しながら、個々が必要とする自立活動に取り組むことができる「自校通級」を拡充しています。

本分科会では、令和5・6年度の「通級による指導」開設校におけるさまざまな取組をもとに、「通級による指導」開設に向けて**学校全体で取り組むポイント**と、「通級による指導」を**通常学級等の指導に生かすポイント**について考えます。「通級による指導」は、子ども一人一人が、自分らしく自ら学ぶ力を育む自立活動の指導です。「共に学び、共に育ち、共に生きる」教育において重要な役割を担う「通級による指導」について、みんなで考えましょう。

< 発表 >

指導部 インクルーシブ教育推進担当	特別支援教育研修・支援グループ
研修支援員 新開 真琴	研修支援員 阪口 正治
通級指導アドバイザー 森田 雅子	通級指導アドバイザー 山田 充
通級指導アドバイザー 山口 敬子	通級指導アドバイザー 橋本 陽子

< 担当 >

指導部 インクルーシブ教育推進担当 特別支援教育研修・支援グループ 指導主事 安田 加弥

E

つながろう、つなげよう、学びの架け橋 ～もし小学校の先生が幼児期の教育に出会ったら…～

初めて小学校1年生の担任になったある若手教員。生活科の授業改善に向け、幼児期の教育について調べたり、幼稚園の先生に相談したりしてみると、次々と新しい発見が…。

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続のためには、「幼児期までに育ててほしい姿」等を手掛かりに、成長を共有し、幼児期に生まれた資質・能力を小学校教育につないでいくことが大切です。

本分科会では、幼稚園と小学校の先生で意見交流をしながら、互いの教育のつながりについて理解を深め、自校園でできる連携・接続の在り方について考えていきます！

< 講師 >

大阪教育大学 教授 中橋 美穂

< 担当 >

指導部 初等・中学校教育担当 初等・中学校教育グループ

F

教育は数値で語れない!? 教育データからみえる学力のつまずきと不登校の分析

今年度より総合教育センター内に「シンクタンク統括室」を設置するとともに2名のデータアナリストを雇用し、教育データを活用した高度な調査分析を行っています。今年度は学力のつまずきと不登校について調査分析を行いました。分科会では、その分析結果の報告を通して教育データの分析と教職経験をつなぐ架け橋となるよう参加者の皆さまと語り合いたいと思います。一緒に、教育データ活用について考えましょう。

< 講師 >

国立教育政策研究所 教育データサイエンスセンター 主任研究官 高見 享佑

< 発表 >

大阪市総合教育センター 教育振興担当 調査分析グループ データアナリスト

< 担当 >

大阪市総合教育センター 教育振興担当 指導主事 山内 隆弘

G

大阪市総合教育センター研究校の実践について ～教育課題の解決をめざして～

「大阪市総合教育センター 研究校・実践校」の取組は、今年度より始まりました。

学力向上や不登校など、本市が抱える教育課題は多様であり、解決困難な諸課題が絡み合う教育課題を解決する仕組みとして、令和6年4月より、「大阪市総合教育センター研究校」を、4校設置し、研究すべき教育課題4テーマについて、大学や企業等と協働しながら、1校につき1テーマの、解決に向けた調査・実証研究を行っています。

その中で、大阪市教育振興基本計画に掲げる、最重要目標の達成に資する、理論と実践の往還を実現するとともに、その成果を、教育施策等に還元し、全市に発信していくことで、各学校における質の高い教育につなげていくことをめざします。研究校の取組を、ぜひご覧ください。

< 発表 >

大阪市立中之島小中一貫校	主務教諭	尾小谷 純也
大阪市立義務教育学校生野未来学園	主務教諭	多々良 尚俊
大阪市立長居小学校	主務教諭	櫻井 俊明
大阪市立北稜中学校	主務教諭	上床 祐輔

< 担当 >

大阪市総合教育センター 教育振興担当	指導主事	當銘 真衣子
	指導主事	田邊 宜雅

H

理科好きの子どもを育てる ～理科教育推進校の取組～

「子どもが理科を好きになる授業」「子どもが理科に興味をもつ学習環境」とは、どのようなものなのでしょう。本分科会では、理科好きの子どもを育てるをめざして理科教育の推進に取り組む学校の実践事例をご紹介します。その後、「理科好きの子どもを育てる」というテーマについて、参加者で意見交流を行う予定です。

紹介される実践だけでなく、参加者の日々の実践も合わせて意見を交流し、理科教育について皆さんで考えを広げていきましょう。

< 講師 >

大阪教育大学 産官学イノベーション共創センター 教授 仲矢 史雄

< 発表 >

大阪市立東田辺小学校	教諭	渡邊 光詩郎
大阪市立大和田小学校	教諭	島田 崇生

< 担当 >

大阪市総合教育センター 教育振興担当 指導主事 宮下 由美子

I

How to Teach English ～授業カブラッシュアップ!～

今年度も小中学校の多くの先生方が文部科学省主催のオンライン研修を受講されています。

受講者の皆さんからは、英語指導の専門性を磨くことができる大変有意義な研修だと聞いております。

そこで、今年度の教育フォーラムでは、本研修を受講されている先生方から研修内容の共有や実践事例の報告をいただく予定です。

主な研修内容

- 小学校 言語活動を通じた指導
授業の組み立て方 等
- 中学校 Small Talk: Demonstration & Analysis Teaching interactive speaking 等
ぜひ、ご参加いただき、授業改善のヒントにさせていただけると幸いです。

< 担当 >

指導部 初等・中学校教育担当 英語イノベーショングループ 総括指導主事 小谷 智範

【教育DX】学びが変わる、学校が変わる ～リーディングDXスクール事業指定校からの報告～



「学習者用端末とクラウド環境を活用した効果的な教育実践の創出・モデル化」をめざし、令和5年度よりスタートした文部科学省リーディングDXスクール事業。令和6年度、大阪市では、西淀中学校、姫島小学校、田辺中学校、南田辺小学校が選定され、実践を進めてきました。自立した学習者を育てる授業づくりを合言葉として、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実、9年間を見通した情報活用能力の育成、校務改善など、具体的な実践例をもとに教育DXを推進するポイントを紹介し、「学びが変わる、学校が変わる」をテーマにカリキュラム・マネジメントの視点を加え、4校が試行錯誤を重ねながら教育DXに挑んだ軌跡をご覧ください。

< 発表 >

大阪市立西淀中学校
大阪市立姫島小学校
大阪市立田辺中学校
大阪市立南田辺小学校

< 担当 >

大阪市総合教育センター 教育振興担当 指導主事 田村 真生

カリキュラム・マネジメントの充実に向けたモデル開発 ～教育活動の質の向上をめざして～

「カリキュラム・マネジメントの充実に向けたモデル開発」を掲げ、研究協力校とともに実践に取り組んできました。本分科会では、これまでの研究協力校の実践報告をもとに、学校教育目標の具現化をはかるカリキュラム・マネジメントの在り方について、参加者同士で意見交流をします。みんなで創るカリキュラム・マネジメント、みんなを繋げるカリキュラム・マネジメント、教育活動の質を向上させるカリキュラム・マネジメントについて、一緒に考えましょう。

< 発表 >

大阪市立鯉江小学校
大阪市立港中学校

< 担当 >

大阪市総合教育センター 教育振興担当 指導主事 北風 潤
指導主事 乾 正義

信頼関係を築く保護者対応 ～関係づくりのポイントとは～

学校現場でおこる様々な問題を解決していくためには、保護者との連携が大切であり、保護者から教員が信頼されていることが、とても重要なことです。児童・生徒が欠席した際の家庭連絡や、けがをした時、友だち同士のトラブル等の対応について、事案例を基に一緒に考え、保護者との関係を築いていくためのポイントを紹介します。

保護者と互いに協力し合い、子どもの育成にあたるための信頼関係構築についての基本的な考え方や、危機管理の知識について学びましょう。

< 発表 >

指導部 初等・中学校教育担当 第1教育ブロックグループ 指導主事 藤田 青陽
指導主事 馬場 美帆

< 担当 >

指導部 初等・中学校教育担当 第1教育ブロックグループ 総括指導主事 沖本 周士

M

大学院での学び ～大学院で学ぶことのよさ～

大阪市には、勤務しながら大学院で学ぶことができる制度があります。

本分科会では、現在その制度を活用し、大学院に通っている現職教員より「どのようなことを学んでいるのか」「日々の教育活動にどのように活かしているのか」「大学院で学ぶことのよさ」など、大学院での学びを多様な視点から報告します。大学院に関心があり、より見識を広げ深めていきたい方は、ぜひご参加ください。

< 講師 >

大阪教育大学 教授 寺嶋 浩介

< 発表 >

大阪市総合教育センター 教育振興担当 首席 鵜飼 健悟

指導部 インクルーシブ教育推進担当 特別支援教育研修・支援グループ 主務教諭 西 未来男

< 担当 >

大阪市総合教育センター 教育振興担当 総括指導主事 川村 幸久

N

学校と地域が協働した子どもたちの豊かな学びのために ～「社会に開かれた教育課程」と地域学校協働活動～

本市においては、小学校区の「はぐくみネット事業」および中学校区の「学校元気アップ地域本部事業」を中心として、子どもたちの学びや成長を支えるために、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働した取組をすすめています。小学校と中学校の事例紹介を交えながら、めざす方向についてお伝えします。

< 報告内容 > 大阪市立内代小学校 「キャリア教育を志向し、生きる力をはぐくむ幼保連携・地域連携」

大阪市立東中学校 「学校元気アップ地域本部の取組について」

< 発表 >

大阪市立内代小学校

大阪市立東中学校

< 担当 >

生涯学習部 生涯学習担当

指導部 教育活動支援担当 業務調整グループ



Osaka City Board of Education